

1 学校教育目標

諸法令及び都・足立区の教育目標や基本方針を受け、人権尊重の精神を基盤とし国際化・情報化の社会を自分らしく生き、自己実現できる児童の育成を目指した教育目標を設定し、全教育活動を通してその具現化を図る。 ○思いやりのある子 ○よく考える子 ○やりぬく子 ○元気な

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	●夢や希望を育む学校→子どもたちの日々の生活に、教育目標や高い自尊感情が目に見える姿として現れている学校・教育への使命感煮満ち、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校・心の通い合う温もりがあり、教育機能を発揮するために保護者・地域と連携する学校
○児童・生徒像	●夢や思いに溢れる児童→思いやりのある子…互いの人格を尊重し、正義と思いやりをもつ優しい子・よく考える子…進んで取り組み、よく考え、伸び伸びと表現する子・やりぬく子…目標をもち、最後までやり遂げる子・元気な子…安全で健康な生活を心がけ、実行する子
○教師像	●夢を語り、希望を抱かせる教師集団→子供の夢を育み、力を引き出すために、教育の質的向上を目指す<自ら学ぶ教師>・教育目標の達成を目指し、創造的・建設的に教育力を高め合う<協働する教師>・説明責任を果たし、信頼される学校づくりに努める<開かれた教師>

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

区内有数の歴史と伝統をもつ本校は、熱心な地域や保護者の方に支えられ、落ち着いた雰囲気の中で教育活動を展開している。明るく素直な児童が多い反面、価値観の多様に伴って学習や生活で配慮を要する児童も見られるようになり、全職員で組織的に対応している。若手教員も増え、学校全体としての指導力向上が課題となっているが、力量あるベテラン教員がOJTを通して若手の力を伸ばす文化が根付いており、全体の総合力を維持している。

【前年度の成果と課題】

「学力向上」については、指標となる区学力調査の通過率が国語 83.8%、算数 82.7%であった。全学年が目標値を上回ったが、「書く能力」や記述式問題への対応力などは学校共通の課題として浮かび上がった。2月に実施した学力定着度調査からは、複数資料等の比較も含めた読解と関連した表現に課題があることが確認された。非連続型のテキストも含め、PISA型読解力の伸長も視野に入れた取組の充実が必要と考える。「豊かな心の育成」については、学校評価項目「児童は仲良く楽しく学校生活を送っている」は目標値を超えたが、自尊感情や自己肯定感については数値が下がった。登校渋り等も増加傾向にある中、コロナ禍で減少した他者との関りや認められる場面を状況に応じた実施可能な方法で設定していく必要がある。「体力向上」については、昨年度体力調査や運動行事のほとんどが実施できなかったため、既存のデータに基づく昨年度の計画を実施可能な方法で見直し、安全面を十分に確保しながら展開していくことが課題である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	体力の向上	○	○	○	○	○

5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力の確実な定着		・区学力調査の通過率 80%以上 ・定着度調査の通過率 75%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習	全児童 国語 算数	毎火・水 始業前 10分	担任 漢字や計算(e ライブラリ含 む)等の確認テスト・返却	・日々の確認 テスト集計 ・各種調査の 国語における 言語と算 数の技能面 の正答率	・確認テスト等 で正答率80% 以上の児童が 80%以上 ・区平均正答率 +3ポイント	自己評価の際に記入		
2 継続	放課後 補習教室	対象者 国語 算数	毎週 火・木 30分	担任+専科 つまずきに応じて、再テス ト、ドリル等で個別指導					
3 継続	授業改善	全学年 全教科	通年	全教員 足立SDによる授業とノー ト指導等の統一、教科指導専 門員による授業観察と指導、 校内研究の推進	・区学力調査 の通過率 ・定着度調査 の通過率	・区学調査の通 過率 80%以上 ・定着度調査の 通過率 75%以 上			
4 継続	家庭学習 の充実	全児童 全家庭	通年	全教員 漢字・計算・音読を基本とし た低学年 15分×学年、高学年 60分家庭学習を課す	学校評価 アンケート	家庭学習ができた と回答する保 護者 90%以上			
5 継続	読書活動 の推進	全児童 図書	通年	担任 学年ごとに目標記録を設 定し、達成を目指す	児童の 読書記録	目標達成児童 が 80%以上			
6 継続	ICT 機器を 利活用した授業の 充実	全学年 全教科	通年	全教員 授業で機器を積極的に利 活用し、学習の効率や児童 の情報処理能力を高める	・区の効果検 証項目「活 動指標」の 結果	ICT 機器の効果 的な活用に困 惑を感じる教 員が 20%以下			

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自他をかけがえのない存在としてお互いを認めたり、力を合わせたりすることができる「思いやりのある子」の育成		学校評価の項目「児童は楽しく学校生活を送っている」の肯定的回答が90%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の推進	「いじめ」に関する教員研修と授業を3回以上実施、人権教育年間指導計画に沿った教育活動の充実と年2回以上の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座での「いじめ」に関する授業公開と協議、研修の実施 ・人権教育年間指導計画の組織的で定期的な振り返りと評価する機会の設定 	自己評価の際に記入		
異年齢集団での活動	ICT 機器の利活用も含め、異学年兄弟学級による「なかよしタイム」での活動6回以上、高齢者施設の訪問及び出前授業3回以上、幼稚・保育園との交流3回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式を踏まえ、異学年で兄弟学級を編成し、集会や遊びで交流する。 ・ICT 機器も利活用した連携幼稚、保育園との「小学校体験」や高齢者施設との交流や介護体験の実施 			
自尊感情や自己肯定感を高める支援の充実	学校評価項目「児童は自分をかけがえのない存在だと思い、伸び伸びと自信をもって行動している」の肯定的回答が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や地域行事等を通じた児童の活躍の場とそれを認める機会の更なる拡充 ・「児童のよさや活躍」を情報共有に向けた打合せ時間の確保や掲示板の活用 			
不登校やその傾向がある児童への支援の充実	不登校の出現率前年度比10%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議による関係者間の迅速な情報共有と方針の確認、組織的な支援の実施と計画的な評価と改善 ・2回実施のQU検査を活用した学年や学級経営の充実 			

重点的な取組事項－3		体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身ともに健康な子供の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・都運動能力調査で都平均値を上回る学年や種目が70%以上 ・学校評価項目「学校は体力向上の工夫をしている」の肯定的回答が90%以上 	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体育科授業の改善	都体力調査の児童質問紙調査項目「体育の授業は楽しいですか」の肯定的回答90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の公開授業、協議を各学級一回以上実施 ・実技を含む体育科の校内研修会を3回以上実施 	自己評価の際に記入		
年間を通じた体力向上の取組と運動の日常化の推進	都体力調査の児童質問紙調査項目「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答95%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の日常化を意図した運動朝会や集会を年10回以上、運動行事とそれを含む旬間の実施、区のスポーツ大会にできる限り参加。 ・休み時間の外遊びの奨励。 			
自己の運動記録に挑戦する意欲の高揚	児童質問紙調査項目「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか」の肯定的回答が75%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・Beyond2020の取組を推進し体力テスト、水泳、持久走、縄跳び等の個人記録を家庭と協力して蓄積、目標達成に向けた取組を校内外で進めていく。 ・連合運動会等も含めた学校や学年の平均記録及び最高記録を校内に掲示。オリンピックやパラリンピック種目についても、世界記録等を合わせて表示する。 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）